

# 哲學研究

第四十七卷 第十册

第五百五十二號

昭和六十一年三月二十日發行

普遍概念としての多樣体……………澤口昭聿

「相互作用論」のモデル序説(完)……………宝月誠

事物の類似たるイデア……………長倉久子

——ボナヴェントウラの  
イデア論における問題——

デカルトにおける自然学の  
形而上学的基礎づけ……………小林道夫

——傳統的形而上学との対比において——

〔資料〕西田幾多郎・全集未収載遺稿(二)

〔学界展望〕西田哲学をめぐる……………大橋良介

最近の論点——書評をかねて——

〔書評〕岩波哲男著……………水見潔

『ヘーゲル宗教哲学の研究』

——ヘーゲルとキリスト教——

彙報

京都大學文學部内

京都哲學會

## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
  - (一) 會誌「哲學研究」を發行する
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく  
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會は賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年三、六〇〇圓(會誌代を含む)を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

## 京都哲學會役員

### 委員

池田秀三	上田閑照	梶山雄一	木會好能	酒井修平	佐々木丞	清水善三	清水御代	中西久	谷裕	長谷正	服部正	平野俊二	藤澤令	宝月壽誠	松丸克己	御牧	水垣	美濃	山本耕平	吉岡健二
------	------	------	------	------	------	------	------	-----	----	-----	-----	------	-----	------	------	----	----	----	------	------

(36) G. Simmel, *Brücke und Tür*, 1957 (酒田健一他訳『橋と扉』白水社、一九七六年) 訳書二四二頁。

(37) シュニッツが科学的公準の一つとして「適合性の公準」を掲げるとき、彼が単に理論的解釈が日常生活の常識的な解釈と一致することに、理論解釈の妥当根拠を求めたと読み取ることが果して適切かどうかは疑問であるが、相互作用論の立場では分析者の理論レベルでの解釈の妥当根拠を一応解釈者間の「合意」の可能性に求めたい。

(筆者 ほうげつ・まこと 京都大学文学部〔社会学〕助教授)

前 号 目 次

沈黙の思考 (完) .....	本吉 良治
ヒュームにおける理性と情念 .....	土岐 邦夫
「有の問い」から「回思」へ .....	松丸 壽雄
——ハイデガーに於ける「思索」と「詩作」 に關する一考察——	
言語・意味・対象 .....	中畑 正志
——『クラテュロス』におけるプラトンの 言語哲学——	
〔資料〕西田幾多郎・全集未収載遺稿 (一)	
〔回想〕留学当時の思出 (完) .....	白井 二尚
〔書評〕 神野慧一郎著 .....	田村 均
『ヒューム研究』	

代日本の哲学・増補版』勁草書房、昭和三十七年所収)を挙げてお  
く。

(3)「共通感覚」や「知」を「覚」との連関で論じた西谷啓治氏の  
重要な論文として、他に「般若と理性」(玉城康四郎編『仏教の比  
較思想的的研究』東京大学出版会、昭和五十四年、二三七-三〇〇  
頁)および「覚」について(一)(二)(東洋学術研究第十八巻、第三  
号、一一-一三頁)を挙げておきた。

(筆者 おおはし・りょうすけ 京都工芸繊維大学

「哲学」教授)

前号(五五一号)正誤表

誤

正

八頁 一三行 スペキュレーション

四一頁 一六行 指適する

五四頁 八行 「回想 Andenken」 「回想 Andenken」

六一頁 四行 「建立づる」 「建立する」

八三頁 一四行 そのため

八八頁 一六行 実現を

二〇頁 一行 ソクラテスでは

二〇頁 一行 ソクラテスの見解で

二七頁 一五行 『ソフィステス』 『ソピステス』

二二頁 九行 *tyra bōtan* *tyra bōtan*

三三頁 下段〇〇 私はフサルから

二二頁 二一行 ……教えを受けフ市

三三頁 上段七行 ……残つて

三三頁 上段七行 固じ

三三頁 上段七行 固じ

つくままの論評を記してきた。最後にもう一度くり返すならば、本書は、ヘーゲル宗教哲学の研究という分野に於て、先駆的開拓的業績として、熟読さるべき・きわめて高い価値を有している。本書が刺激となつて、わが国に於けるこの分野の研究が、

画期的躍進を遂げることを、筆者もまた、宗教哲学の一学徒として、心から願うものである。

(筆者) ひみ・きよし 奈良県立短期大学  
〔哲学〕助教授

告 諭 文 論 号 次	
曼荼羅の構成……………	清水善三
——その二——	
真理への意志……………	圓増治之
——近世哲学に於けるその内的変動——	
デカルトにおける意志の問題……………	安藤正人
——意志と <i>indifferentia</i> ——	
トマス倫理思想の基礎……………	中村治
——至福への本性的欲求について——	
〔資料〕西田幾多郎全集未収載遺稿(完)	
〔討論〕田村均氏の書評に答う……………	神野慧一郎

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都二一四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年三、六〇〇圓、但し、會誌數冊分）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京二一九二四七二番）宛に願います  
一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京 都 市 左 京 區 吉 田  
京 都 大 學 文 學 部 内

昭和六十一年三月十五日 印刷  
昭和六十一年三月二十日 發行

編輯兼 京 都 大 學 文 學 部 内  
發行人 京 都 哲 學 會

編輯代表 酒 井 修

編輯担当 美 濃 正

賣捌所 株式 創 文 社

久 保 井 理 津 男

東京部千代田區一番町一七番地  
振替口座 東京二一九二四七二  
電話東京二六三二七二〇（代巻）

印刷所 曉 印 刷 株 式 會 社

東京部文京區関口一―二四―八

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御注文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御注文はすべて代金送料共（一部、送料六〇圓）前金にてお送り下さい

昭和六十一年三月二十五日發行

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XLVII

March

1986

No. 10

---

---

Articles

- Mannigfaltigkeit als Allgemeinbegriff*.....Shoitsu Sawaguchi  
*On the Model of "Interactionism"*.....Makoto Hogetsu  
*Les idées divines comme ressemblance des êtres créés*  
— *Quelque problèmes dans la doctrine bonaventuriennes*  
*des idées* — .....Hisako Nagakura  
*La fondation métaphysique de la physique chez Descartes*  
..... Michio Kobayashi

Material

Two Unpublished Papers of Nishida Kitaro

Critical Notice

On Some Recent Publications on Nishida Kitaro's Philosophy  
..... Ryosuke Ohashi

Book Review

*Tetsuo Iwanami : Studies on Hegel's Philosophy of Religion*  
— *Hegel and Christianity* —  
.....Kiyoshi Himi

Notes

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-8

定価 1,854円  
(本体 1,800円)